

日本文学の伝統と現代社会分科会(第 26 期・第 5 回)

議事要旨

出席者:植木朝子、原田範行、吉岡洋、有元伸子、海野圭介、小黒康正、木村勝彦、佐藤利行、
日比嘉高、日向太郎

欠席者: なし

日時 令和 7 年6月15日(日) 13時00分~15時15分

場所 オンライン

記録 海野圭介

(1) 委員の発表

海野圭介委員「人文学データの大規模蓄積と研究資源としての利活用に向けて

(2) 意見交換

デジタル時代における新しい人文・社会科学に関する分科会が中心となって行おうとしている意思の表出(人文・社会科学におけるオープンサイエンスを踏まえた質的研究のためのデータ基盤の形成(仮題))について共有し、海野委員の発表に基づいて質疑応答を行った。

各委員の研究分野におけるデータの蓄積と利活用に関する課題を共有し、データを用いた研究、教育における問題点のみならず研究、教育の本質に及ぶ意見交換を行った。

(3) その他

第6回は日比嘉高委員に発表を依頼し、2025 年10月開催の予定で調整することとした。